

→今月の【 掲示板 】 2025/4 月～2025/5 月

今月の待合室は、薬剤科より『糖尿病治療薬について』を掲示しています。

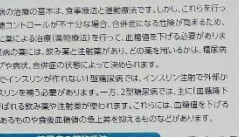
薬物療法

薬物療法の基本

薬物療法の目的

糖尿病の治療の目的は、食事療法と運動療法です。しかし、これらだけでは血糖コントロールがうまくいかない場合、合併症になるのを防ぐ必要があり、適切な薬による治療(薬物療法)を行う。血糖を下げる必要がある。糖尿病の薬には、飲み薬と注射薬があり、どの薬を用いるかは、糖尿病のタイプや病状、合併症の状態によって決めます。

糖尿病でインスリンが作れない1型糖尿病では、インスリン注射で血糖をコントロールする必要があります。一方、2型糖尿病では、主に血糖降下薬と呼ばれる飲み薬や注射薬が使われます。これらは、血糖値を上げる物質の働きを抑えることで血糖値を下げることが出来ます。



糖尿病の薬物療法

薬によって、血糖や糖質の吸収、注射するインスリンが減少して、血糖値を下げることが出来ます。血糖コントロールが安定する。

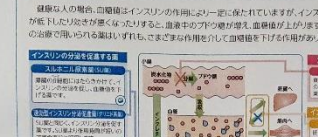
1型糖尿病の人だけでなく、2型糖尿病の人でも、インスリン注射が必要になる場合があります。

薬物療法

薬物療法の基本

糖尿病治療に用いられる薬と作用

健康な人の場合、血糖値はインスリンの作用により一定に保たれています。インスリン分泌が低下したり不足したりすると、血糖中のブドウ糖が増え、血糖値が上がります。糖尿病の治療で用いられる薬は、血糖値を下げる作用があります。



インスリンの働きを促す薬

インスリン分泌を促す薬は、インスリン分泌を促す作用があります。インスリン分泌が低下している人でも、インスリン分泌を促す薬によって、インスリン分泌が増え、血糖値が下がります。

インスリン分泌を促す薬

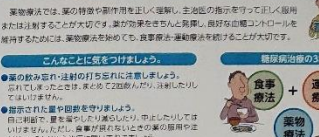
インスリン分泌を促す薬は、インスリン分泌を促す作用があります。インスリン分泌が低下している人でも、インスリン分泌を促す薬によって、インスリン分泌が増え、血糖値が下がります。

薬物療法

薬物療法の基本

薬物療法の注意点

薬物療法では、薬の特性や副作用を正しく理解し、主治医の指示を守って正しく服用または注射することが大切です。薬が効果を示すまでには時間がかかります。適切な血糖コントロールを維持するために、薬物療法は欠かせません。



こんなことに気をつけましょう

- 薬の飲み忘れ、注射の打ち忘れは厳禁です。主治医の指示を守って正しく服用または注射することが大切です。薬が効果を示すまでには時間がかかります。適切な血糖コントロールを維持するために、薬物療法は欠かせません。
- 糖尿病の薬は、血糖値を下げる作用があります。血糖値が低すぎると、低血糖症になります。低血糖症の症状は、めまい、冷汗、震え、空腹感などです。低血糖症になったら、速に血糖値を上げる必要があります。
- 薬の飲み忘れ、注射の打ち忘れは厳禁です。主治医の指示を守って正しく服用または注射することが大切です。薬が効果を示すまでには時間がかかります。適切な血糖コントロールを維持するために、薬物療法は欠かせません。

糖尿病治療の3本柱

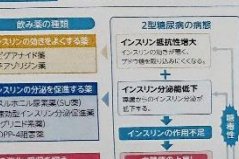
食事療法 + 運動療法 + 薬物療法

薬物療法

経口血糖降下薬

糖尿病の病態と飲み薬の種類

2型糖尿病の人の多くは、血糖値を下げるための飲み薬を処方されています。飲み薬は、血糖値を下げる作用があります。飲み薬の種類は、インスリン分泌を促す薬、インスリン作用を増強する薬、インスリン作用を増強する薬、インスリン作用を増強する薬などがあります。



インスリン分泌を促す薬

インスリン分泌を促す薬は、インスリン分泌を促す作用があります。インスリン分泌が低下している人でも、インスリン分泌を促す薬によって、インスリン分泌が増え、血糖値が下がります。

インスリン作用を増強する薬

インスリン作用を増強する薬は、インスリン作用を増強する作用があります。インスリン作用が低下している人でも、インスリン作用を増強する薬によって、インスリン作用が増え、血糖値が下がります。

薬物療法

経口血糖降下薬

あなたが服用している飲み薬

薬名	作用	特徴
インスリン分泌を促す薬	インスリン分泌を促す作用	インスリン分泌が低下している人でも、インスリン分泌を増やすことが出来ます。
インスリン作用を増強する薬	インスリン作用を増強する作用	インスリン作用が低下している人でも、インスリン作用を増やすことが出来ます。

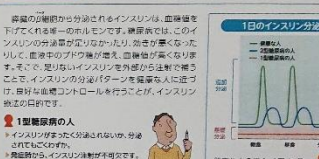
あなたが服用している飲み薬の種類を確認してください。

薬物療法

注射薬 (インスリン療法)

インスリン療法とは?

糖尿病の病態から分泌されるインスリンは、血糖値を下げる作用があります。インスリン療法とは、インスリンを注射して血糖値を下げる治療法です。インスリン療法は、1型糖尿病の人や、2型糖尿病の人でも必要になる場合があります。



1日のインスリン分泌の変化

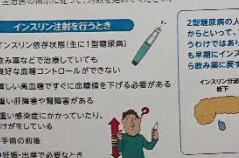
インスリン分泌は、1日のうちで最も多いのは朝食後、次に夕食後、そして朝食前です。インスリン分泌が低下している人でも、インスリン療法によって、インスリン分泌が増え、血糖値が下がります。

薬物療法

注射薬 (インスリン療法)

インスリン療法が必要になるとき

インスリン療法は、1型糖尿病の人や、2型糖尿病の人でも必要になる場合があります。インスリン療法が必要になるのは、血糖値がコントロールできず、合併症のリスクが高くなる場合です。インスリン療法は、血糖値を下げ、合併症のリスクを減らすことが出来ます。



インスリン注射を行うとき

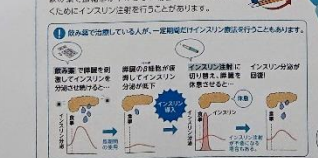
- インスリン注射は、血糖値を下げる作用があります。インスリン注射が低下している人でも、インスリン注射によって、インスリン分泌が増え、血糖値が下がります。
- インスリン注射は、血糖値を下げる作用があります。インスリン注射が低下している人でも、インスリン注射によって、インスリン分泌が増え、血糖値が下がります。

薬物療法

注射薬 (インスリン療法)

2型糖尿病のインスリン導入のタイミング

2型糖尿病の人は、インスリン分泌が低下している人でも、インスリン療法によって、インスリン分泌が増え、血糖値が下がります。インスリン療法は、血糖値を下げ、合併症のリスクを減らすことが出来ます。



インスリン導入のタイミング

インスリン導入のタイミングは、血糖値がコントロールできず、合併症のリスクが高くなる場合です。インスリン療法は、血糖値を下げ、合併症のリスクを減らすことが出来ます。

薬物療法

注射薬 (インスリン療法)

インスリンの種類と特徴

種類	作用時間	特徴
速効型	短時間	血糖値を速に下げることが出来ます。
中効型	中時間	血糖値を中程度に下げることが出来ます。
遅効型	長時間	血糖値を長時間にわたって下げることが出来ます。

インスリンの種類と特徴を確認してください。

薬物療法

注射薬 (インスリン療法)

あなたが使用しているインスリンは?

あなたが使用しているインスリンの種類を確認してください。

薬物療法

注射薬 (インスリン療法)

インスリン療法が必要になるとき

インスリン療法は、1型糖尿病の人や、2型糖尿病の人でも必要になる場合があります。インスリン療法が必要になるのは、血糖値がコントロールできず、合併症のリスクが高くなる場合です。インスリン療法は、血糖値を下げ、合併症のリスクを減らすことが出来ます。

薬物療法

注射薬 (インスリン療法)

インスリンの種類と特徴

種類	作用時間	特徴
速効型	短時間	血糖値を速に下げることが出来ます。
中効型	中時間	血糖値を中程度に下げることが出来ます。
遅効型	長時間	血糖値を長時間にわたって下げることが出来ます。

インスリンの種類と特徴を確認してください。

薬物療法

注射薬 (インスリン療法)

あなたが使用しているインスリンは?

あなたが使用しているインスリンの種類を確認してください。

薬物療法

注射薬 (インスリン療法)

インスリン療法が必要になるとき

インスリン療法は、1型糖尿病の人や、2型糖尿病の人でも必要になる場合があります。インスリン療法が必要になるのは、血糖値がコントロールできず、合併症のリスクが高くなる場合です。インスリン療法は、血糖値を下げ、合併症のリスクを減らすことが出来ます。

薬物療法

注射薬 (インスリン療法)

インスリンの種類と特徴

種類	作用時間	特徴
速効型	短時間	血糖値を速に下げることが出来ます。
中効型	中時間	血糖値を中程度に下げることが出来ます。
遅効型	長時間	血糖値を長時間にわたって下げることが出来ます。

インスリンの種類と特徴を確認してください。

今月の担当は

薬剤科です